

世界シェールガス株ファンド

追加型投信／内外／資産複合

交付運用報告書

第23期

決算日：2024年2月5日

作成対象期間：2023年8月8日～2024年2月5日

第23期末（2024年2月5日）	
基準価額	17,325円
純資産総額	708百万円
第23期中 （2023年8月8日～2024年2月5日）	
騰落率 [※]	2.1%
分配金合計	100円

※騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼を申し上げます。当ファンドは、シェールガス関連株マザーファンド受益証券への投資を通じて「シェールガス」関連ビジネスを展開する企業の株式に投資し、収益および長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。

ここに、当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)を電子交付することが定められています。運用報告書(全体版)は、下記の手順にてご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

< 閲覧方法 >

右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「運用ファンド」ファンド名称より「運用報告書」を選択ください。

キャピタル アセットマネジメント株式会社

東京都千代田区内神田一丁目13番7号 四国ビルディング9階

< お問い合わせ先 >

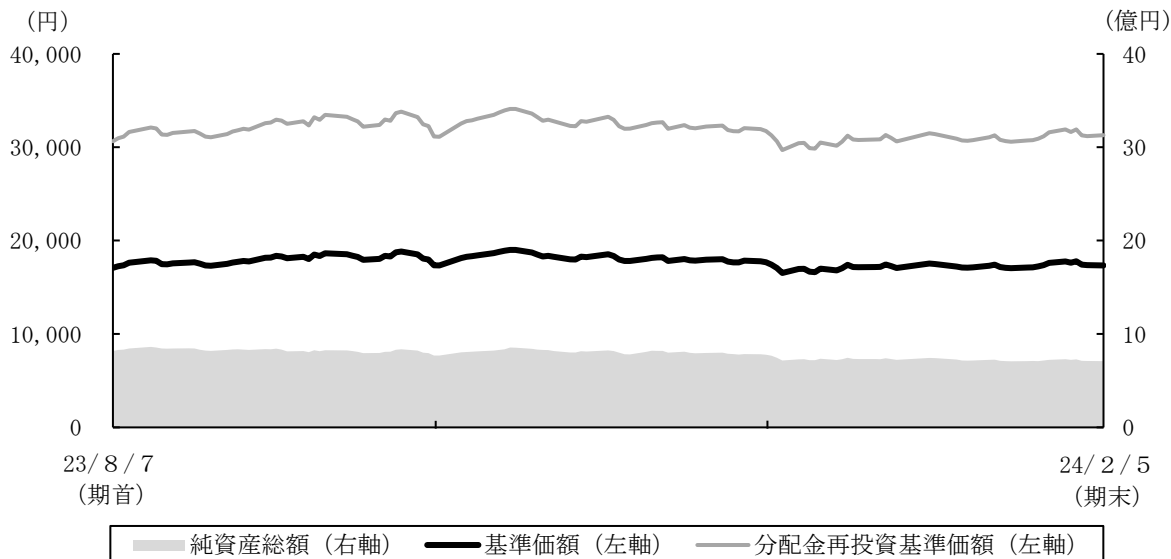
【電話番号】 03-5259-7401

(受付時間：営業日の午前9時～午後5時)

【ホームページ】 <http://www.capital-am.co.jp/>

◆ 運用経過の説明 ◆

1. 基準価額の推移 (2023年8月8日～2024年2月5日)



第23期首：17,069円

第23期末：17,325円 (既払分配金100円)

騰落率：2.1% (分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

2. 基準価額の主な変動要因 (2023年8月8日～2024年2月5日)

当期末の基準価額は17,325円と、前期比256円のプラスとなりました。騰落率は、分配金再投資ベースで前期比2.1%のプラスとなりました。保有したエネルギー関連株式の株価は値動きが大きい中で前期末に比べて小幅下落となりましたが、為替市場で米ドル高円安が進行したことが、基準価額の主たる上昇要因となりました。

3. 当期中の1万口(元本10,000円)当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	161円 (68) (88) (6)	0.908% (0.383) (0.492) (0.033)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率です。 なお、期中の平均基準価額は17,775円です。 ・ 委託した資金の運用の対価 ・ 運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後のアフターフォローの対価 ・ 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	3 (3)	0.018 (0.018)	(b) 売買委託手数料は期中の金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。 売買委託手数料とは、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料です。
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	0 (0)	0.000 (0.000)	(c) 有価証券取引税は期中の金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。 有価証券取引税とは、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金です。
(d) そ の 他 費 用 (監 査 費 用) (保 管 費 用) (そ の 他)	33 (5) (8) (20)	0.188 (0.028) (0.044) (0.115)	(d) その他費用は期中の金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。 ・ 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・ 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用 ・ 信託事務の処理等に要するその他の諸費用(目論見書・届出書および報告書の作成、交付、印刷に係る費用等)
合 計	198	1.114	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

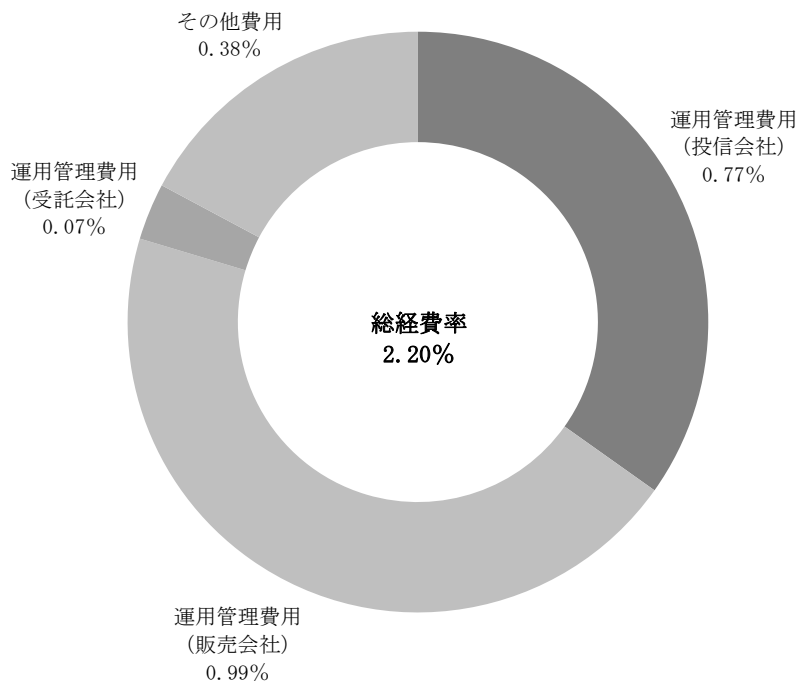
(注2) 「比率」欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注3) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は2.20%です。



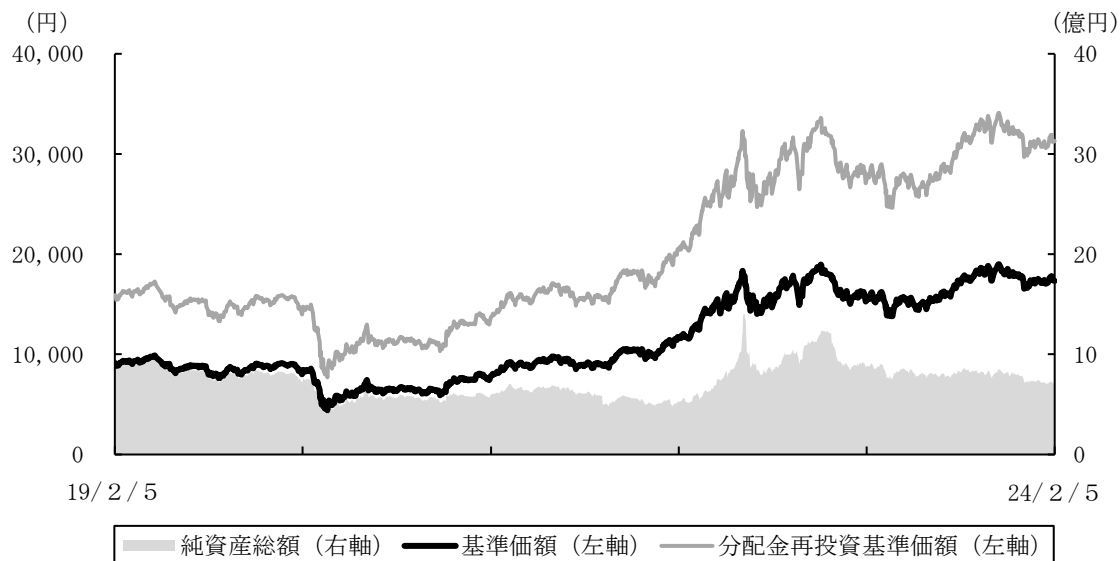
(注1) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

4. 最近5年間の基準価額等の推移 (2019年2月5日～2024年2月5日)



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

	(2019/2/5)	(2020/2/5)	(2021/2/5)	(2022/2/7)	(2023/2/6)	(2024/2/5)
	決算日	決算日	決算日	決算日	決算日	決算日
基準価額 (円)	9,088	8,171	7,865	11,742	15,547	17,325
期間分配金 (税込み) 合計 (円)	—	0	0	100	200	200
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 10.1	△ 3.7	50.6	34.2	12.7
参考指数騰落率 (%)	—	△ 17.0	△ 23.5	80.4	44.1	8.7
純資産総額 (百万円)	911	730	597	526	885	708

(注1) 当ファンドは、適切なベンチマークが存在しないため、ベンチマークを設けていません。当報告書では、前営業日の「S&P500 エネルギー株指数」の終値を当日の為替レート（投信協会発表）で邦貨換算した数値を参考指数として表示しています。

(注2) 騰落率は1年前の決算日との比較です。

(注3) 期間分配金は、年間の分配金を合計して算出しています。

参考指数に関して

・「S&P500 エネルギー株指数」は、当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しているものです。

5. 投資環境 (2023年8月8日～2024年2月5日)

<株式市場>

参考指数のS&P500エネルギー株指数は期首664.37ポイント、期末には635.86ポイントと、4.29%の下落となりました。

期初のエネルギー関連株式は、サウジアラビアが当初発表した「日量100万バレルの自主減産」を9月末まで延長するといった好材料の一方で、中国景気の鈍化という懸念材料が綱引き状態となり、相場もみ合いとなりました。しかしその後は、サウジアラビアが自主減産を12月末まで継続すると発表したことやロシアによる原油輸出削減措置の年内継続発表、さらには主要国際機関による2023年内のエネルギー供給不足予想の発表等が好感され、9月末にかけて株価は上昇しました。

10月に入ると、イスラム武装組織ハマスによるイスラエル攻撃とイスラエルによる反撃を契機に、中東での地政学的リスクの高まりが注目されて原油価格及びエネルギー関連株式の株価が上昇する場面もありましたが、事態収拾に向けた外交努力に加え、武力行使は限定的との見方から、株価は軟調となりました。

11月から12月初めにかけては、イスラエル・ハマス紛争による地政学的リスクがくすぶるものの、周辺の中東諸国を巻き込んだ紛争拡大が回避されたことに加え、米国での金融引き締め政策継続の思惑や中国景気鈍化を理由に、株価は下落しました。

12月中旬以降は、米国の利下げ観測を好感したリスク資産全般の価格上昇の動きや、イエメンの親イラン武装組織フシ派による紅海でのタンカー攻撃を背景とした原油価格上昇を理由に、年末に向けて株価は上昇しました。

2024年1月以降は、原油価格が値動きの荒い展開となったことに歩調を合わせる形で、エネルギー関連株式の株価も振れ幅を大きくする中で、期末に向けて横ばいで推移しました。

<為替市場>

期首141円台で始まったドル・円相場は、米国景気堅調の下でインフレ抑制を目指す米連邦準備理事会(FRB)が政策金利据え置きを継続したことで、11月初めには151円台に達するなど、ほぼ一本調子で円安が進行しました。この間、日本の政府・日銀による為替介入警戒観測が度々強まる場面もありましたが、実際の為替介入は実施されませんでした。その後は、米国のインフレ指標が鈍化する中で、パウエルFRB議長や一部のFRB高官が利下げの可能性を示唆したことで、12月末にかけて141円台まで円高が進行しました。しかし、2024年1月に起きた能登半島地震の被害拡大を背景に日銀の金融政策転換が先送りされるとの思惑や、良好な米国経済指標の発表を理由に、期末にかけて再び148円台まで円安が進行しました。

6. 当該投資信託のポートフォリオ (2023年8月8日～2024年2月5日)

<ベビーファンド>

シェールガス関連株マザーファンドの組入れは、高位に維持しました。

<シェールガス関連株マザーファンド>

原油価格が上昇した9月末にかけては、石油・ガス探査・開発セクターの投資比率を高めに運用しました。その後、原油価格が下落基調に転じた局面では、相対的に安全性の高い大型株を中心とする総合石油・ガスセクターと、原油価格下落による需要拡大が見込まれる石油・ガス精製・販売セクターや石油・ガス貯蔵・輸送セクターの投資比率を引き上げました。

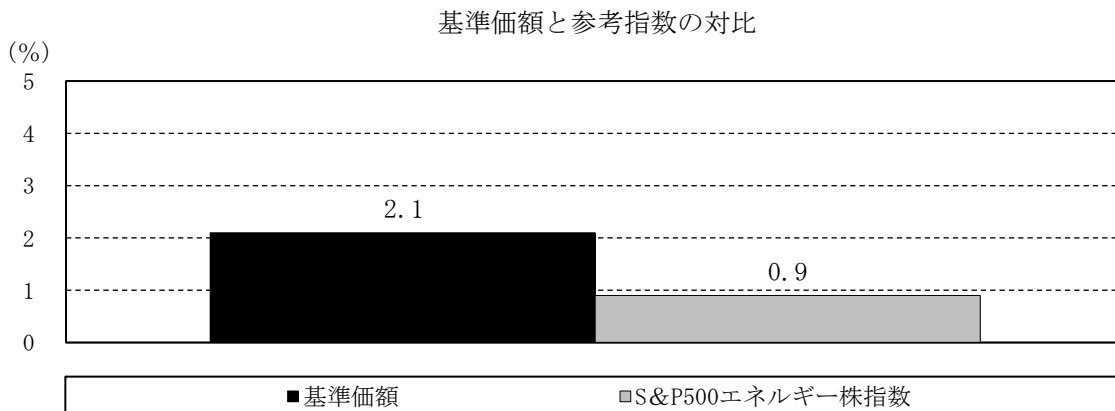
期中の主な売買は、以下の通りです。

買入：Schlumberger Ltd、Occidental Petroleum Corp

売却：Devon Energy Corp、Chevron Corp、Tourmaline Oil Corpなど

7. 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けていません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注1) 基準価額は分配金(税引前)込み。

(注2) 参考指数は前営業日の「S&P500 エネルギー株指数」の終値を当日の為替レート(投信協会発表)で邦貨換算しています。

8. 分配金

分配原資、基準価額水準等を勘案し、当期の収益分配は以下の通りとさせていただきます。
留保益は、「基本方針」および「運用方法」に基づいて運用します。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

	第23期
	2023年8月8日～ 2024年2月5日
当期分配金	100
(対基準価額比率)	0.57%
当期の収益	100
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	7,325

(注1) 対基準価額比率は、当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金(税引前)と一致しない場合があります。

◆ 今後の運用方針 ◆

<ベビーファンド>

引き続き、シェールガス関連株マザーファンドの組入れを高位に維持する方針です。

<シェールガス関連株マザーファンド>

企業が保有するシェールガス関連技術なども考慮した上で、財務データや株価指標等も活用して、投資先企業を選別して参ります。

原油価格については、引き続き値動きの荒い展開が予想されるため、石油・ガス探査・開発セクターの投資比率を若干引き下げ方向、石油・ガス精製・販売セクターの投資比率を引き上げ方向にて運用する方針です。

今後のリスク要因としては、ロシア・ウクライナ問題の行方、イスラエル・ハマス紛争と中東での地政学的リスク、中国の景気動向等が挙げられます。

◆ お知らせ ◆

新しいNISA制度における成長投資枠対象ファンドの要件を満たすため他所要の約款変更を行いました。

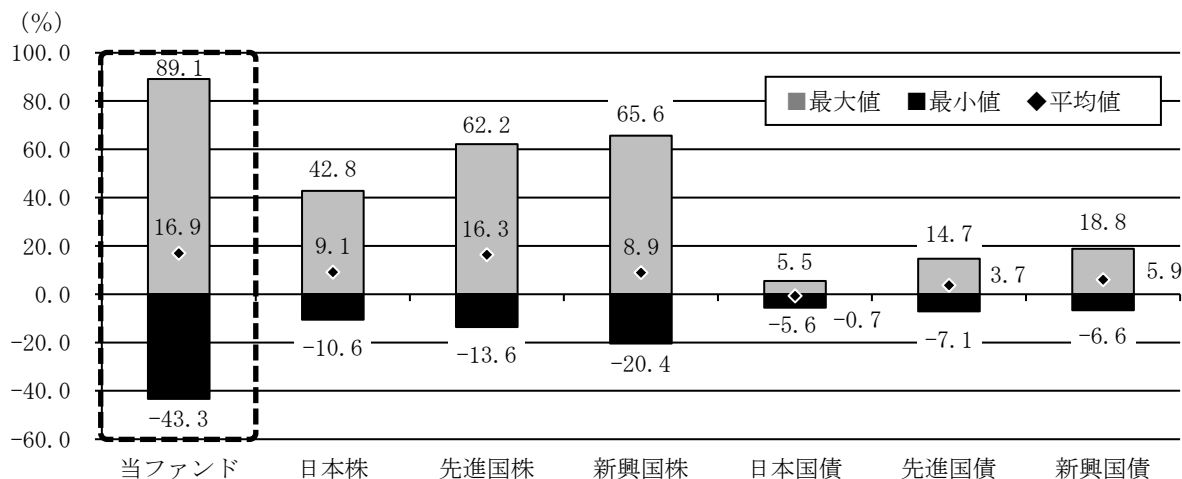
(変更適用日：2023年11月8日)

◆ 当該投資信託の概要 ◆

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	無期限(設定日：2012年8月30日)	
運用方針	ファミリーファンド方式により、収益および長期的な信託財産の成長を追求します。	
主要投資対象	ベビーファンド	シェールガス関連株マザーファンドの受益証券
	シェールガス関連株マザーファンド	シェールガスビジネスを行う企業もしくは関連企業によって発行された比較的流動性の高い株式および株式関連証券
運用方法	主として、シェールガス関連株マザーファンドの受益証券への投資を通じて、シェールガスを中心とする非在来型天然ガスの探査、開発、生産など、シェールガスビジネスを行う企業もしくは関連企業によって発行された比較的流動性の高い株式および株式関連証券に投資し、収益および長期的な信託財産の成長を追求します。銘柄選定にあたっては、企業収益の成長性や財務健全性などを勘案して厳選します。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんが、機動的に市場変動に対応することがあります。	
分配方針	毎決算日(年2回、原則として2月5日と8月5日)に、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合等には分配を行わないことがあります。	

◆ ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較 ◆

(2019年2月～2024年1月)



(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 過去5年間の各月末における年間騰落率の最大・最小・平均を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

(注3) 各資産クラスの指数につきましては最終ページをご覧ください。

(注4) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、邦貨換算しています。

(注5) 騰落率は当期末の直近月末から遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

(注6) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

◆ 当該投資信託のデータ ◆

1. 当該ファンドの組入資産の内容 (2024年2月5日現在)

● 組入 (上位) ファンド・銘柄等

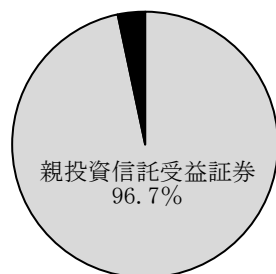
	組入比率
シェールガス関連株マザーファンド	96.7%
その他	3.3%

(注1) 組入比率は、純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

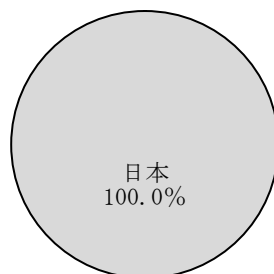
(注2) 全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載されています。

● 資産別配分

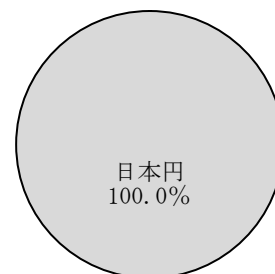
その他 3.3%



● 国別配分



● 通貨別配分



(注1) 資産別配分比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別・通貨別配分比率はポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分比率は、発行国・地域で区分しています。

(注3) 各比率の合計が四捨五入の関係で100%にならない場合があります。

2. 純資産等

	第23期末 2024年2月5日
純資産総額	708,901,075円
受益権総口数	409,173,407口
1万口当たり基準価額	17,325円

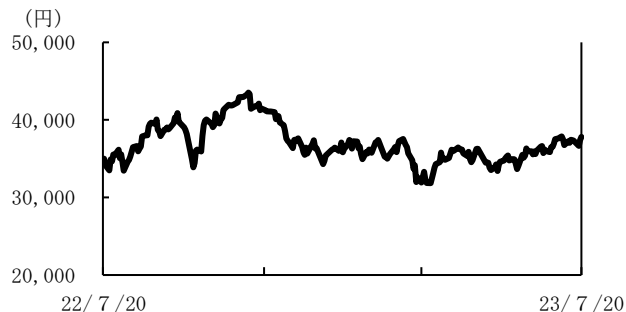
(注) 当期間における追加設定元本額は90,287,244円、同解約元本額は159,369,190円です。

3. 組入上位ファンド（銘柄）の概要（2023年7月20日現在）

以下は、当ファンドの主要な投資先ファンドの直近決算の概要です。なお、当ファンドの決算情報とは時点が異なりますのでご注意ください。

【シェールガス関連株マザーファンド】

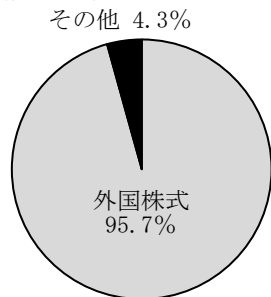
● 基準価額の推移



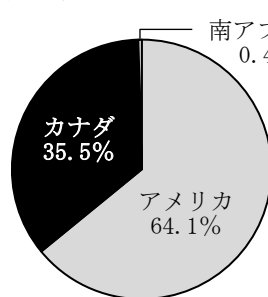
● 1万口当たりの費用明細

項目	当期
(a) 売買委託手数料 (株 式)	19円 (19)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	0 (0)
(c) その他費用 (保管費用等)	36 (36)
合計	55

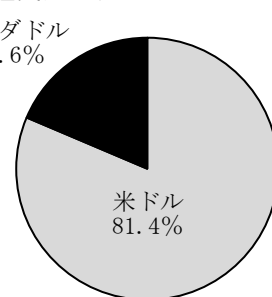
● 資産別配分



● 国別配分



● 通貨別配分



● 組入上位 10 銘柄

銘柄名	通貨	比率(%)
Cheniere Energy Inc	米ドル	7.1
Canadian Natural Resources	米ドル	7.0
ARC Resources Ltd	カナダドル	6.9
Diamondback Energy Inc	米ドル	6.3
Tourmaline Oil Corp	カナダドル	5.9
Ovintiv Inc	米ドル	5.7
Chevron Corp	米ドル	5.6
EOG Resources Inc	米ドル	5.3
Pembina Pipeline Corp	カナダドル	5.0
Devon Energy Corp	米ドル	4.5
組入銘柄数	26 銘柄	

(注1) 当マザーファンドの純資産総額に対する比率です。

(注2) 全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

(注) 費用項目の概要及び注記については、2頁の費用明細をご参照下さい。

(注1) 基準価額の推移、組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別のデータは2023年7月20日現在のものです。

(注2) 1万口当たりの費用明細は、「シェールガス関連株マザーファンド」の直近の決算期のものです。費用項目については2頁の注記をご参照ください。

(注3) 資産別配分比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別・通貨別配分比率はポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注4) 国別配分比率は、発行国・地域で区分しています。

(注5) 各比率の合計が四捨五入の関係で100%にならない場合があります。

◆ 指数に関して ◆

<代表的な各資産クラスの指数>

日本株：Morningstar 日本株式指数	日本国債：Morningstar 日本国債指数
先進国株：Morningstar 先進国株式指数(除く日本)	先進国債：Morningstar グローバル国債指数(除く日本)
新興国株：Morningstar 新興国株式指数	新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数

海外資産の指数については、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数値を使用しています。上記各指数は、全て税引前の利子・配当込みの指数値を使用しています。

<各指数の概要>

日本株：Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc. が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。

先進国株：Morningstar 先進国株式(除く日本)指数は、Morningstar, Inc. が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。

新興国株：Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc. が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。

日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc. が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。

先進国債：Morningstar グローバル国債(除く日本)指数は、Morningstar, Inc. が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。

新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc. が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

<重要事項>

当ファンドは、Morningstar, Inc.、又はモーニングスター・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc. が支配する会社(これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います)が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に当ファンドに投資することの当否、または当ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス(以下「Morningstarインデックス」と言います)の能力について、当ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。当ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は当ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は当ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、当ファンドの基準価額及び設定金額あるいは当ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または当ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、当ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び/又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、当ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害(逸失利益を含む)について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。